

2 研究の実際 > (2) 授業の実際 > ウ

活動案 (高等学校 2 時目)

◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ったり、「強み」の生かし方を考えたりすることができるようにする。

◆本時の展開

学習活動	教師の働き掛け
1 前時の活動を振り返る。 【2分】	○授業前に前時のワークシートと振り返りシートを返却し、自分の「強み」や学習を通じた気付き等を思い出すことができるようにする。 ○前時のスライドを提示し、「強み」の定義を確認できるようにする。
2 本時のめあてを知る。 【1分】	【本時のめあて】 自分や友達の「強み」を生かさう
3 「星☆いくつ」の活動を行う。 【18分】 交流活動 (4人) (1) グループの友達に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。 (2) 自分に当てはまる「強み」を4つ選んでシールを貼る。 (3) 自分の「強み」だと思いを3つ選び丸印を付ける。 (4) 選んだ「強み」と気付きを伝え合う。	○ワークシートを配付する。 ○スライドを提示し、活動内容と方法を説明する。 ○グループの座席で、活動の役割やシールの色を指定する。 ○自己肯定感が低い生徒でも安心して活動できるように、まず、友達の「強み」と思うものにシールを貼るように指示する。 ○友達にシールを貼ってもらったワークシートに目を通す時間を設けた後に、自分の「強み」と思うものにシールを貼るように指示する。 ○友達と自分が貼ったシールを改めて確認した後に、特に、自分の「強み」と思うものに丸印を付けるように指示する。 ○前時に学習した「聴き方のポイント」を確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができるようにする。 ○選んだ「強み」と気付いたことを伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにする。
4 「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の活動を行う。 【23分】 交流活動 (4人) (1) 自分が苦手なことや困っていることの中で、解決したいと思っていることを1つ書く。 (2) 友達が解決したいと思っていることを解決するためのアイデアを書く。 (3) 自分が解決したいと思っていることを解決するために頑張りたいことを書く。 (4) 自分が解決するために頑張りたいことを伝え合う。	○ワークシートを配付する。 ○スライドを提示し、活動内容と方法を説明する。 ○前時の活動(「自分Webbing」)と活動の方法が似ていることを伝え、抵抗なく取り組むことができるようにする。 ○前時のワークシートを参考に、生徒が苦手だと思っていることを複数例示し、書きやすい雰囲気づくりをする。 ○これまでの活動で見付けた友達「強み」を参考にして、解決するためのアイデアを書くように助言する。 ○友達にアイデアを書ってもらったワークシートに目を通す時間を設ける。 ○友達のアイデアを参考にして、自分が頑張りたいことを書くように助言する。 ○自分の「強み」を生かして頑張りたいことについて伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を生かさうという意欲を高めるようにする。
5 本時の活動を振り返る。 【5分】 交流活動 (4人) (1) 振り返りシートに記述する。 (2) グループで、気付きを伝え合う。	○振り返りシートを配付する。 ○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにする。
6 次時の活動を知る。 【1分】	○次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにする。